

令和 6 年 3 月 15 日

環境大臣  
経済産業大臣  
福島県知事  
会津若松市長

日本野鳥の会会津支部  
支部長 児山 章二

公益財団法人 日本野鳥の会  
理事長 遠藤 孝一 (公印省略)

**福島県会津若松市東部の背炙山周辺の国有林及び民有林に計画されている  
3社の風力発電事業計画に係るイヌワシおよびクマタカの保護に関する要望書**

標記の件について、下記のとおり要望いたします。

記

背炙山周辺の国有林および民有林では、株式会社 INFLUX、クリーンエナジー合同会社、コスモエコパワー株式会社の3社がそれぞれ下記1~3の風力発電事業を計画しています。

環境省が2004年8月31日に公表した「日本におけるイヌワシの生息分布(1990~2002年3月)」および「日本におけるクマタカの生息分布(1990~2002年3月)」によれば、現在3社が風力発電事業を計画している背炙山周辺の国有林及び民有林を含む会津地方一帯でイヌワシの生息が、また、クマタカが高密度で繁殖していることが確認されています。国内でもイヌワシ及びクマタカの風車への衝突死が発生していることから、背炙山周辺は風力発電を計画するには著しく適さない場所であると考えますが、そこに合計51基、総延長15kmに及ぶ風力発電施設の建設が計画されています。

本会等の調査により、イヌワシ1つがいとクマタカ8つがいが計画地周辺に生息していることを最近も確認しています。別紙のとおり、確認したイヌワシ、クマタカの行動圏は3社の事業計画地と重なっています。国内の風力発電における希少猛禽類の衝突死等について、2008年9月には岩手県の「釜石広域ウインドファーム」でイヌワシが、また、2007年5月に三重県の青山高原ウインドファームおよび2023年11月に山形県鶴岡市で稼働中の「八森山風力発電所」の風車にクマタカが衝突死しました。このようにイヌワシやクマタカの行動圏に風車が建設されることにより、風車への衝突死が発生する可能性が生じます。また、環境省による「風力発電事業におけるクマタカ・チュウヒに関する環境影響評価の基本的考え方(案)」にもあるように繁殖放棄、繁殖ペアの消失、テリトリー放棄、移動経路の遮断が生じる可能性もあり、これらは複数の計画による累積的影響として考える必要もあります。さらに、ある隣接ペアとの競合の影響がさらに別の隣接ペアへ波及していく「将棋倒し」のような影響が出現する可能性もあり、会津地方のイヌワシおよびクマタカの生息に重大な影響が出ると考えます。

このことから、貴職におかれましては、環境影響評価法に基づいて意見や勧告を提出するに際し、「事業の大幅な見直しを含む計画の見直しが必要」などの厳しい意見を事業者に対してお示しくださいますように強く要望いたします。

以上

3社による計画は以下のとおりです。

1. 株式会社 INFLUX : 会津若松みなと風力発電事業
2. クリーンエナジー合同会社 : クリーンエナジー会津若松風力発電事業
3. コスモエコパワー株式会社 : 会津若松ウインドファーム増設事業

令和 6 年 3 月 15 日

農林水産大臣  
林野庁長官  
関東森林管理局長  
会津森林管理署

日本野鳥の会会津支部  
支部長 児山 章二

公益財団法人 日本野鳥の会  
理事長 遠藤 孝一 (公印省略)

**福島県会津若松市東部にある背炙山周辺の国有林を風力発電事業の用地として  
貸付けを行わないことを求める要望書**

標記の件について下記の通り要望いたします。

記

背炙山周辺の国有林(会津山地緑の回廊)では株式会社 INFLUX、クリーンエネルギー合同会社、コスモエコパワー株式会社の 3 社がそれぞれ下記 1~3 の風力発電事業を計画しています。

環境省が 2004 年 8 月 31 日に公表した「日本におけるイヌワシの生息分布(1990~2002 年 3 月)」および「日本におけるクマタカの生息分布(1990~2002 年 3 月)」によれば、現在 3 社が風力発電事業を計画している背炙山周辺の国有林及び民有林を含む会津地方一帯でイヌワシの生息が、また、クマタカの生息が高密度で繁殖していることが確認されています。国内でもイヌワシ及びクマタカの風車への衝突死が発生していることから、背炙山周辺は風力発電を計画するには著しく適さない場所であると考えますが、そこに合計 51 基、総延長 15 km におよぶ風力発電施設の建設が計画されています。

本会等の調査により、イヌワシ 1 つがいとクマタカ 8 つがいが計画地周辺に生息していることを最近も確認しています。別紙のとおり確認したイヌワシ、クマタカの行動圏は 3 社の事業計画地と重なっています。国内の風力発電における希少猛禽類の衝突死等のについては、2008 年 9 月には岩手県の「釜石広域ウインドファーム」でイヌワシが、また、2007 年 5 月に三重県の青山高原ウインドファームおよび 2023 年 11 月に山形県鶴岡市で稼働中の「八森山風力発電所」の風車にクマタカが衝突死しました。このように、イヌワシやクマタカの行動圏に風車が建設されることにより、風車への衝突死が発生する可能性が生じます。また、環境省による「風力発電事業におけるクマタカ・チュウヒに関する環境影響評価の基本的考え方(案)」にもあるように繁殖放棄、繁殖ペアの消失、テリトリー放棄、移動経路の遮断が生じる可能性もあり、これらは複数の計画による累積的影響として考える必要もあります。さらに、ある隣接ペアとの競合の影響がさらに別の隣接ペアへ波及していく「将棋倒し」のような影響が出現する可能性もあり、会津地方のイヌワシおよびクマタカの生息に重大な影響が出ると考えます。

緑の回廊について林野庁は「国有林野において、野生生物の移動経路を確保し、生息・生育地の拡大と相互交流を促すため」に設定すると定義しています。さらに「会津山地緑の回廊設定方針」には、「本地域では特に野生生物のうち希少猛禽類に着目し、その生息域を重視し設定することとする」とあります。このように、会津山地緑の回廊は第一にイヌワシやクマタカを含む希少猛禽類の生息環境を安定的かつ持続的に保護するために設定されています。

それを踏まえれば、会津山地緑の回廊に含まれる背炙山周辺の国有林に風車が建設されることは、「会津山地緑の回廊設定方針」に著しく反するものと考えます。そのため、背炙山周辺の国有林を 3 社の風力発電事業計画に係る事業用地として貸付けを絶対に行わないよう強く求めます。

以上

3 社による計画は以下のとおりです。

1. 株式会社 INFLUX：会津若松みなと風力発電事業
2. クリーンエネルギー合同会社：クリーンエネルギー会津若松風力発電事業
3. コスモエコパワー株式会社：会津若松ウインドファーム増設事業